

わが町を近畿のオアシスに！

「みかん百笑」・日高川町観光協会会長 玉置俊久さん

トレードマークの手ぬぐいを頭に巻く、玉置俊久さん（五七）。六年前、両親がお世話になった故郷への恩返しという志を持ち、大手電器メーカーを早期退職。みかん作りをしながら観光協会の会長として、営業マン時代以上の忙しさで東奔西走する日々だ。

定年を待たずに田舎暮らしへ

「美しい町、素晴らしい町。でも元気がなかったんです」。サラリーマン時代の玉置さんの目に、離れて久しい故郷はそ

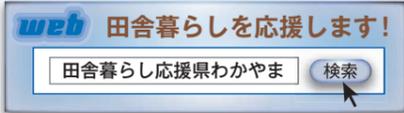
う映った。生まれた町をなんとかしたい！

五十二歳のとき、子どもの独立などもあり、大反対だった妻を説得した。「定年を待たずに自立すれば、皆より一歩先に立てる」。安定した生活を捨てることに迷いはなかった。そして革靴をスニーカーに、スーツをジーンズに、ネクタイを手ぬぐいに変えた。

日高川町は県の中央部に位置し、高速道路で大阪から約一時間半。日高川の両岸に田園風景が広がる。六十五歳以上の高齢化率が三〇％を超える一方、地域の努力もあって、京阪神からの移住者も増えている。この町には「安珍清姫伝説」の道成寺、紀州備長炭など、宝がたくさんある。しかし「それを生かしていない」。玉置さんは、これらの地域資源を使い、日高川町を人の集まるオアシスにしようとした。



これまでの活動が認められ、地元団体「おいでよ！日高実行委員会」が「関西元気文化圏賞のニューパワー賞」を受賞。授賞式も手ぬぐいを巻き出席したとか。（自宅ログハウス前にて）



この日は「笑い祭」の8日目。翁の「家（永）楽（じや）く、世（は）楽（じや）く」の掛け声から皆で笑い合い、幸せを引き寄せる。

ら持ち去られて、京都妙満寺に安置されていた「釣鐘」に着目。その「里帰り」を仕掛けた。そのうえ、人間国宝の歌舞伎役者、中村富十郎さんを招き、中村福助さんが「京鹿子娘道成寺」を、その物語の舞台で奉納するとういう無謀とも思われる企画に挑戦。そしてその「エネルギー」でついに実現、大成功させてしまった。その後も文楽や能公演を開催するなど、町に自信と誇りをもたらした。

地元・丹生神社で秋に一日だけ行われていた「笑い祭」。白粉を塗った、派手な衣装の翁が鈴を振りつつ練り歩くこの祭りは、全国でも数少ない「奇祭」だ。玉置さんはこの祭りの全国発信を神社に持ちかけたが、初めは相手にされなかった。「ならば」と観光協会を設立し、祭りを「初笑い」として一月に十日間行うという企画を提案。結果は二万人の総本山に」という目標の下、「初笑い」は今年三回目を迎えた。さらに日本一の生産量を誇る「紀州備長炭」を



子ども達も一生懸命の「焼き鳥世界一」イベント。残念ながら現在、日高川町は全国第4位。今年4月、道成寺で新記録に挑む！

PRしようと、「焼き鳥の長さ世界一」に挑戦。特産の珍鳥・ホロホロ鳥を使い、世界一の福島県川俣町に挑戦状を叩きつけるなど、話題作りもしながら、新記録十一羽を達成。後に破られたが、さらなる記録を虎視眈々と狙う。「串にする二十二羽の竹探しが大変（笑）」。

「あんたの目、キラキラしてるから…」

昨年、道成寺で能を奉納する際、「家元ご本人に、お金はありません」といったらさすがに怒られた」と頭をかかすが、驚くほどの出演料で協力してくれ、歌

田舎暮らしは心を豊かにしてくれる

舞伎役者の中村福助さんは「無料でいい」とまでいってくれた。想いは伝わっている。住民も「あんたの目、キラキラしてるから」と、先頭に立って汗をかく玉置さんに共感し、盛り上げてくれる。また玉置さんは「地域の人は、大海を知らない」というが、「天の高さ」は知っている」と、大海と天の高さを知る者が一体になることで、真の地域づくりにつながっていくと語る。

サラリーマン時代もバリバリ働いていた玉置さんだが、大組織の中では、「自分ではどうすることもできないこともあった。今は自ら責任をとれることが楽しい。ストレスを感じる時間もない」という。奥さんも、ヨガや水彩画の講師などで充実した日々だ。

これまでの取り組みはプロリーグに過ぎないという。大きな夢は熊野古道を走る「清姫女子駅伝」の開催、さらには道成寺に芝居小屋を建て、古典芸能のメッカにすること。「やろうとする想い、やり遂げようという強い意志があれば必ずできる！」



遥かなる時を経て道成寺に帰ってきた釣鐘。



清姫を舞う中村福助さん。「安珍清姫伝説」は、大蛇となった清姫が、釣鐘に逃げ込んだ僧安珍を焼き殺す情念の物語。

道成寺に人間国宝？ 奇祭に二万人！

四年前のこと。豊臣秀吉の命により、一五八五年に道成寺か

と、かなり本気だ。

最後に何をしていたときが一番楽しいのか尋ねてみた。すると「みかん作りですね」と即答。「僕の田舎暮らしの原点だし、可愛いみかんを眺めていると新しい発想が生まれてくる。田舎には心を豊かにしてくれるものが溢れていますよ」。そう話した瞬間の優しい瞳もまた、強い印象を残した。

日本一のヤッホーポイント！

— 日高川町・椿山ダム湖 —

日高川町美山地区にある椿山ダム湖。この湖沿いにある「グリーンパークつばやま」は、「ヤッホー」と一声発すれば、気持ちのいいこだまが返ってくる。昨年、TV番組で「日本一の山彦スポット」として認定され、シンガーの水木一郎さんが「マジンガーZ」を熱唱し、山彦で輪唱を成功させたところだ。以後、毎日のように山彦を楽しむ人の姿がある。皆さんも「ヤッホー！」だけではなく、時には上司の悪口や失恋相手の名前なんかを呼び、日頃のストレスを発散してみては？

